北海道小学校長会
平成 28 年度　第４回理事研修会
研修部活動報告

研修部から，９月以降の活動については，５点報告させていただく。

１点目は，「第５９回北海道小学校長会教育研究 小樽大会」についてである。

大会キャッチフレーズ「歴史と文化の街小樽より未来にはばたく子どもたちの夢に向かって新たな一歩を」のもと開催された小樽大会は，全道各地より６３０名の参加を得て，二日間の大会を成功裏に終えることができた。

第５８回十勝大会までの研究の成果と課題を受けて，どの分科会においても，素晴らしい研究発表がなされ，それを基に熱心な研究協議が行われた。

道小では，参画型の分科会運営を実行しているが，本大会においても，アナライズカードや参会者の持参資料の効果的な活用，グループ討議の観点の焦点化の工夫などによって，参会者一人一人の課題意識や参加意欲の高まりが見られ，参画型の分科会は充実してきたように感じているところである。参加いただいた会員の皆様に心からお礼申し上げる。

また，大会を成功に導いてくださった寺澤　真大会実行委員長，井村　文俊 事務局長を中心とした大会実行委員会の皆様の，大変きめ細やかな運営とおもてなしに，改めて感謝と敬意を表する次第である。

去る１０月１１日に運営研修会を開催し，午前中に「大会反省会」，午後に平成２９年度の開催地である宗谷地区への「引継会」を行っているが，この内容については，この後の協議において研修部副部長から報告させていただく。

２点目は，平成２９年度　第６０回北海道小学校長会教育研究 宗谷・稚内大会についてである。

大会の概要等については，協議事項の中で，大島研究指名理事よりご説明をいただくことになっている。今後，宗谷・稚内大会実行委員会の皆様と連携を図りながら，大会の成功に向け業務を進めて参りたいと思うので，どうぞよろしくお願いする。

３点目は，「第６８回全連小研究協議会高知大会」についてである。

第６８回全連小全国大会は，１０月２７・２８日の両日，高知県高知市で開催された。道小は，各地区１割参加の体制で臨んだ。　北海道からの研究発表は，

〇研究領域「Ⅰ 学校経営」　第１分科会「経営ビジョン」において

名寄市立風連中央小学校　堀江　　充（ほりえ　みつる）先生

〇研究領域　「Ⅲ 指導育成」　第７分科会「研究・研修」において
　松前町立松城小学校　校長　小寺　廣次（こでら　こうじ）先生
にしていただきました。どうもありがとうございました。
高知大会の詳しい報告については，本日理事研修会の報告の（５）で，研修部事務局幹事からさせていただく。

４点目は，「小学校教育　別冊５３号」の発行についてである。
大会の研究集録として発行している「小学校教育　別冊」であるが，小樽大会実行委員会の研究部及び各分科会の記録担当の先生方には，たいへんご苦労をいただいた。おかげさまで，予定通り今月に完成し，各地区へ送付した。ご活用のほどお願いする。

５点目は，「教育改革等に関する調査」についてである。
７月に，全連小より依頼のあった教育改革，教育課程，現職教育等の調査用紙を各地区の研修部長の先生に依頼，８月に回収し，全連小へ送付した。３月には調査結果が「研究紀要」の冊子となってお手もとに届くことになっている。ご活用をいただければと思う。

最後６点目は，「地区研究活動」についてである。
掲載する原稿については、各地区の研修部長の先生から，全てご提出いただいた。今後、北海道小学校長会のホームページに「地区研究活動」にアップされる。ご協力に感謝申し上げる。